



本校
ホームページ
QRコード

気持ちきりかえていきましょう！



連休も終わり、日常の学校生活がスタートしました。

今年も「休日の24時間（一日）と、平日の一日では時間の流れるスピードが違う』と感じてしまいました。同じように感じた人もいないのでしょうか。充実した時間が過ごせられていたら、それが一番いいのですが…。

新年度がスタートして一ヶ月がたち、連休があり、多くの方が学校・学年・学級での生活で緊張感が少しずつ薄れ、気持ちの余裕が出てきた人もいます。『(生活に)慣れてきた』ともいえるでしょう。

『慣れ』は、決して悪いことではありません。かえって、長期間緊張状態が続いてしまうほうが心や体への負担になると思います。

慣れることで、心（気持ち）に余裕が生まれます。心に余裕があれば、周りの様子を感じることができたり、落ち着いて物事に取り組めたりできるなど、よい部分もあります。

一方、慣れは、時に『緊張感』を弱くしすぎてしまい、「がんばって係の仕事をしよう！」とか、「目標に向けてがんばっていこう！」「交通安全を意識して登下校しよう！」など、自分自身を高めていこうとしていたプラスの意欲や注意力を低下させてしまうこともあります。

連休明けの今、『自分にとってプラスにつながる慣れになっているかな？』『自分にとってマイナスとなる慣れかな？』と、自分自身の気持ちと向き合ってみてはどうでしょうか。もちろん、この気持ちは人によって違いはあるでしょう。『まだ緊張しながら生活しているよ。』と感じている人もいます。自分のペースで、自分にとってプラスになるような慣れにしていってほしいと思います。

この連休期間中、自分自身として充実感・達成感を味わったりした取り組みはできたでしょうか。「●●へ出かけた！」という思い出もいいですが、「自分の机の整理整頓を行った」「家の手伝いをがんばった！」「自分でたてた計画通りに生活することができた！」など、身近な生活のなかで達成感を味わうことも大切なことです。

自分や家族の人たちが、笑顔になれるような時間の使い方ができたら最高だと思えます。気持ちをきりかえ、いいスタートをきっていきましょう。

交通安全意識していますか？

先ほどの『慣れ』にも関係する内容です。

通学の時だけではなく、休みの日に自転車や徒歩で屋外に出かけることがあると思います。その時に…

- 道いっぱいに広がって通行している
- 自転車に乗っているとき周囲の状況に気をつけていない
- 自転車でスピードをだしている、また一旦停止のところで止まっていない などといったことはありませんか。

このような場面があれば、これらの姿に『慣れ』が影響しているのかもしれませんが。



初めて自転車に乗ろうとすると、誰もが緊張します。その緊張感が、経験とともにうすれていきます。(運転に余裕ができ、周囲の状況を見られるようになることはいいのですが…)

自転車の乗り方によっては、交通事故につながる可能性があります。それは、被害者としてだけでなく、加害者としての立場になることも考えられます。安全への意識をもって運転していれば、事故は十分に防ぐことができます。

ご家庭におかれましても、通学や休日等の交通安全の留意点についてお話ししていただきますようお願いいたします。(放課後等も自転車乗車時にはヘルメットの着用を。)

家庭訪問ありがとうございました

4月30日(木)からの日程で実施しました家庭訪問について、ご対応いただきました保護者の皆さまには、ご多用のなかご協力いただきありがとうございました。

自転車通学等「安全確認」



- ・自転車は1列で走行します！ 2列3列で並走しません！！
- ・人や車の近く、曲がり角ではスピードを落とし、「止まれ」の交差点では一旦停止します！
- ・通学以外での自転車利用時にもヘルメットを着用しましょう！